

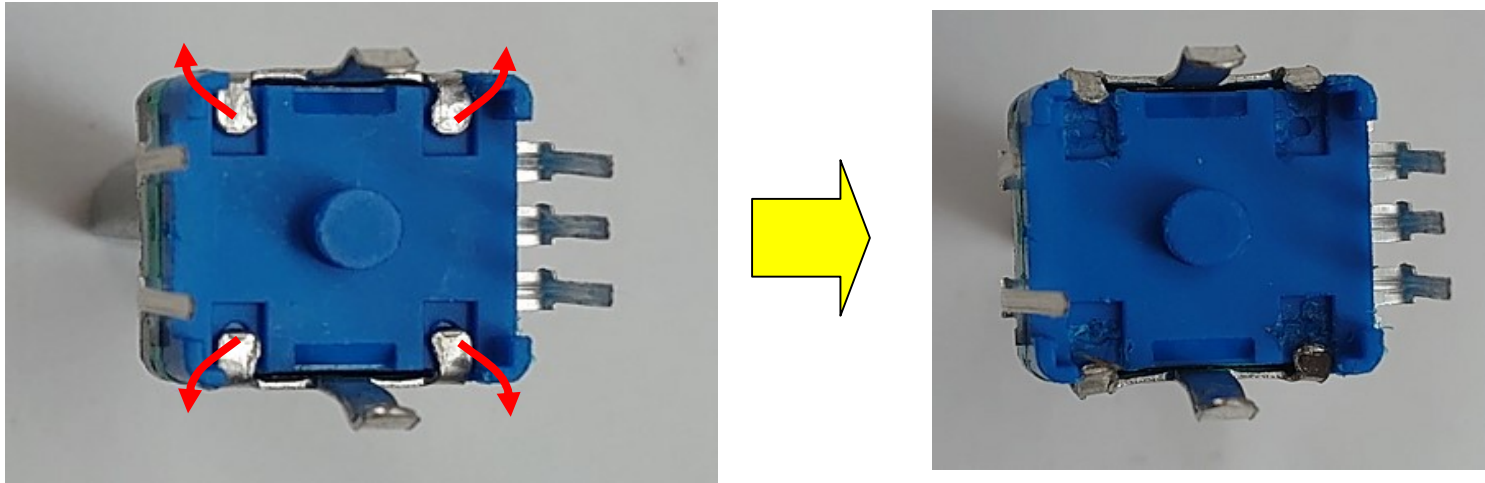
ロータリーエンコーダ 1クリックで エンコーダ出力(A相-B相) は、00/01/11/10 の4状態をとります。  
しかし、クリックのあるエンコーダの軸は、クリック位置でしか止まらないため、  
4状態が1組となり、1回転 20クリックのロータリーエンコーダは1回転20パルスで使用するようになります。

クリックを外すことでエンコーダ軸の停止位置は任意の位置となるため、  
1回転で 4状態×20 で80状態、即ち、80パルス化することができます。

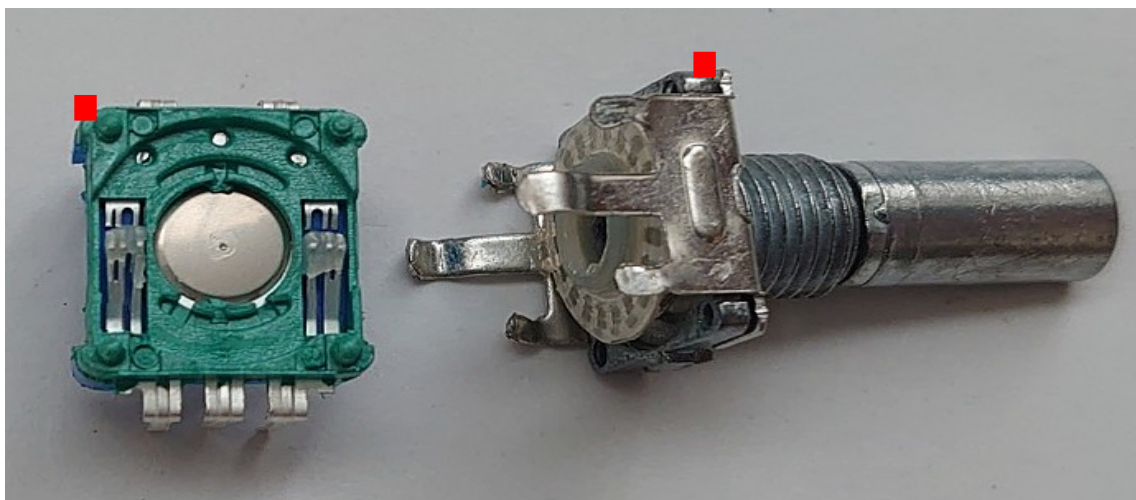
### 改造手順

改造したロータリーエンコーダは、eBayで購入した中国製の安価なエンコーダです。

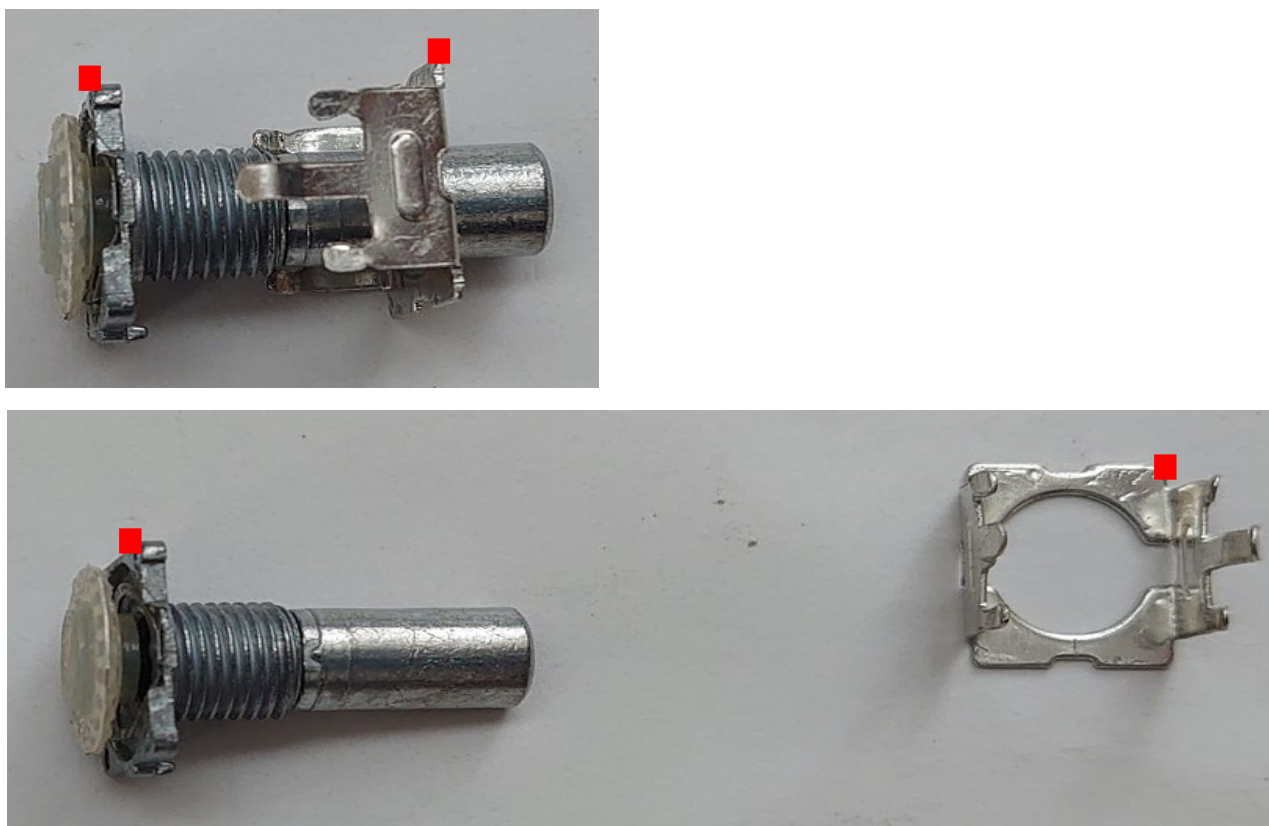
- ① 底部の4つのツメを起こします



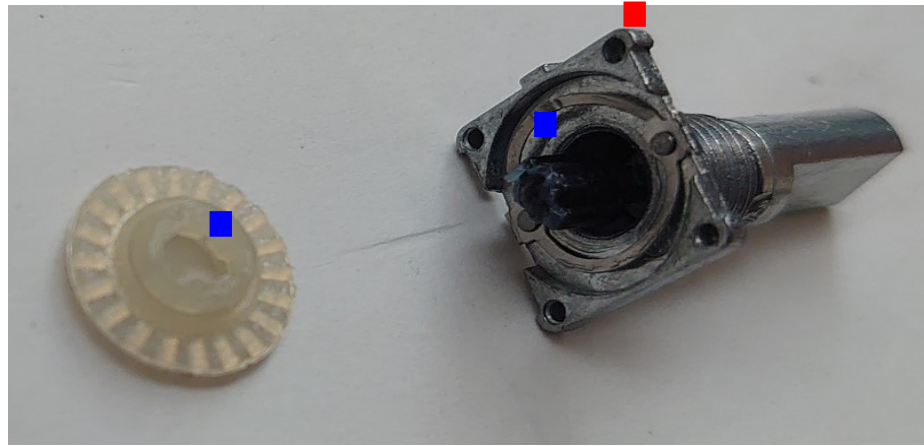
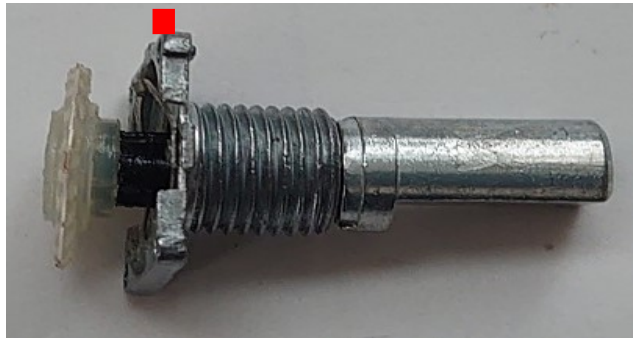
- ② 軸側をそっと分離します。後の組立時に2つの部品の向きが分からなくなならないように印をつけて置くと良いです。



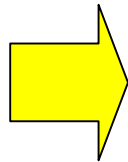
- ③ ツメの付いた部品を分離します。



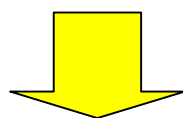
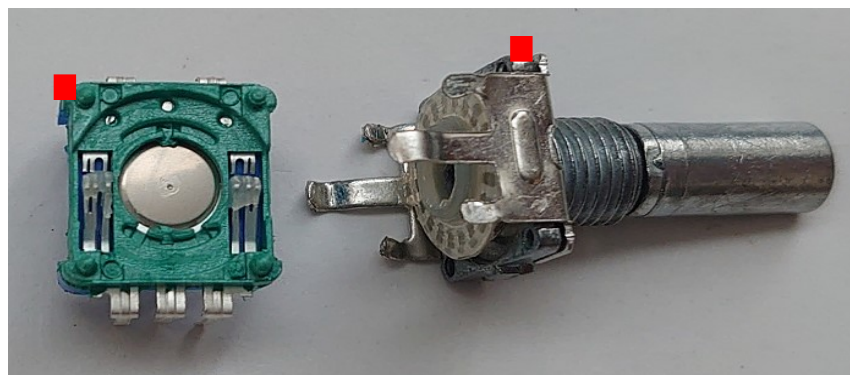
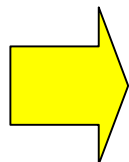
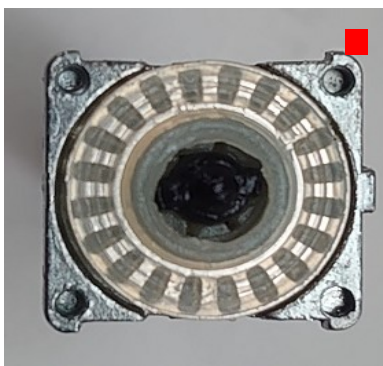
- ④ 接点の部品を分離します。接点端子には触らないようにします。分離した接点の取り付け向きを覚えておきます。



- ⑤ クリックの部品をラジオペンチなどで取り去ります。かしめて固定されているので力は多少必要です。



- ⑥ 分解時とは逆の手順で組み立てます。（接点装着⇒固定部品装着⇒底部と合体⇒ツメを倒す）



ツメを倒す前にエンコーダ軸がスムーズに回転するか確かめます。  
引っ掛かる場合は無理に回転させずに組み立て直します。

